



TKK 共通シラバス

1. 科目名	国際協力論 I				
2. 教員名	草野 孝久	3. 担当大学	神戸学院大学		
4. 対象学年	2年以上	5. 開講時期	夏期集中	6. 単位数	2単位

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

世界も地球もかつてないほど狭くなり、一国では解決できない多くの問題を抱えている。そして、どの国の個人も世界の動きと無関係ではいられない。本講では、世界と地球の明日を、日本の地域社会や学生各人の暮らしや人生と関係づけて考えることができるようになることを目指す。

地球的規模の問題（特に開発と環境の調和の失敗、貧困問題、貧困に起因する教育や保健衛生の不備、飢餓など）、その解決に取り組む様々な次元での国際協力を学ぶ。同時に、国際協力で役立つ問題分析手法や学生自身が身近にできる国際協力プロジェクトの計画手法を参加型で習得する。

8. テキスト、参考書、指定図書

<テキスト> **毎講義時に関連資料を配布する。

<参考書> 村落開発と国際協力＝住民の目線で考える＝（草野孝久 編著・古今書院・税別 2,600 円）

<指定図書> 村落開発と環境保全＝住民の目線で考える＝（草野孝久 編著・古今書院・税別 2,800 円）

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

特になし

10. 提出課題など

5 時限目（集中講義 1 日の最後）毎に、タームペーパーを作成し提出する。

11. 評価基準

第 1 日目の出席と試験（タームペーパー）：30%。第 2 日目の出席と試験（タームペーパー）：30%。最終日の出席と試験（タームペーパー）：40%。

毎回の講義・演習への参加態度、内容の理解度、課題分析の妥当性、考察の独自性などを重視する。

12. 学生へのメッセージ、要望

受講希望者は必ず第一回目の講義に出席すること。国際協力では、状況をしっかりと把握し、はっきりと発言していくことが大事なので、受身ではなく積極的に授業に参加して下さい。

13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

国際協力機構<<http://www.jica.go.jp/>>

担当教員が主導した環境プログラムの現場情報<<http://www.bbec.sabah.gov.my/japanese/index2.htm>>

担当教員が進行役を務めた COP10(名古屋)のイベント報告<<http://www.iisd.ca/biodiv/cop10/enbots/27octe.html>>

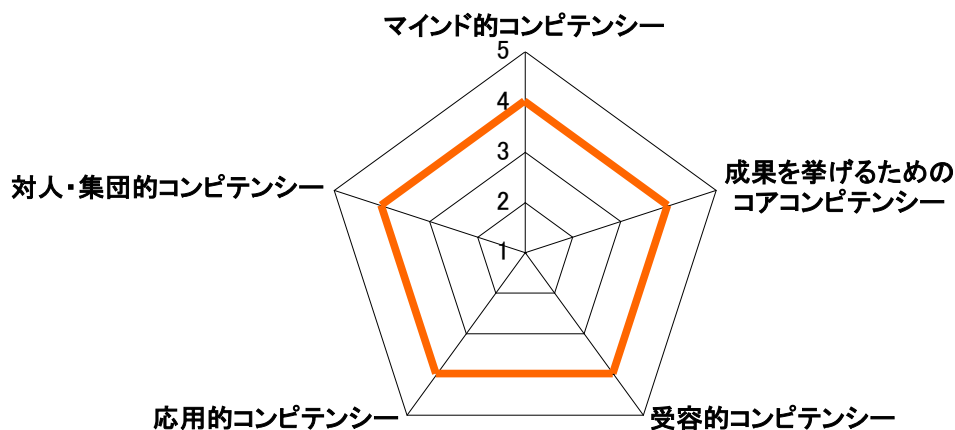
【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	国際協力の概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 相互依存の世界と国際協力の必要性を理解する。 ➤ 国際機関、国家間、NGO、個人の各レベルでの国際協力の概要を理解する。 ➤ グループでの参加型学習方法を理解する。
第2回	国際社会が共有する課題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ミレニアム開発目標(MDGs)の概要とその国際協力体制を学ぶ。 ➤ ブレーンストーミング法を使ってMDGsと自分たちの生活との関係を分析する。
第3回	貧困の実態と問題の背景	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 世界における貧困の現状とその要因を学ぶ。 ➤ フィッシュボーン法を使って事例の貧困問題を分析する。
第4回	演習(貧困と健康)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アフリカでの妊産婦の健康問題(DVD:BBC作成)を学ぶ。 ➤ 日本による保健分野の国際協力の事例(DVD)を学ぶ。 ➤ グループで問題分析(Problem Treeを作成)する。 ➤ グループ発表と意見交換
第5回	試験:タームペーパー1(人間の安全保障)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「人間の安全保障」にむけた国際協力のあり方について、(4)の演習結果を基に、小論文を作成する。
第6回	ジェンダーと女性の開発への参加	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 発展途上国の男女間格差を様々な局面から理解する。 ➤ KJ法を使ってジェンダーの事例を分析する。
第7回	途上国の保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 乳幼児死亡率、妊産婦の健康問題、感染症の途上国での実態を学び、国際社会の取り組みを理解する。 ➤ KJ法を使って保健衛生問題の事例を分析する。
第8回	環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 気候変動、生物多様性、公害など開発と環境の関係を理解し、国際協力の仕組み・取り組みを知る。 ➤ ボルネオ島の自然破壊と戦う村人達(DVD)の実態を理解する。 ➤ 役割(ロール)ごとの目的を果たすための情報を収集し、自分がとるべき言動、相手を説得する作戦を立てる。
第9回	演習(参加型協力手法としてのロールプレイ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学生一人ひとりが、役人、村人、開発会社員、伐採企業職員、国立行員レンジャーなどの立場に立って、問題を議論するロールプレイを実施する。
第10回	試験:タームペーパー2(開発と環境)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 演習結果を踏まえて、それぞれの立場と問題を分析したマトリクスを作成する。
第11回	食糧問題と飢餓	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 世界の農業・食糧生産の抱える水不足、砂漠化、高収益単一種栽培、農薬、バイオエタノール、食糧分配と飢餓問題についての

		国際協力を理解する。
第12回	貧困と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ➤ グローバル化とフィリピンの貧困の関係を学ぶ。 ➤ フィリピン貧困の問題分析（Problem Tree 作成）と、 ➤ 国際協力のための目的分析（Objective Tree 作成）を参加型で行う。
第13回	複雑な世界環境	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アフリカのビクトリア湖を取り巻く複雑な状況（DVD：ダーウィンの悪夢）を学ぶ。
第14回	人類の課題と国際協力（討論）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 前回の「ダーウィンの悪夢」を事例として、以下について討論する。 ➤ 国際協力のレベル ➤ 問題の選択 ➤ 問題分析法の選択 ➤ 解決法
第15回	試験：タームペーパー2（人類の課題と国際協力）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 終了論文：全授業を通じて得た知識・見解を持って、「人類の課題と私の国際協力」と題した小論文を書く。

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

本講では、教員が実際に体験してきた国際協力の事例を多く交えて授業を展開します。

特に、国際協力の相手となる地域社会や団体の課題を理解するための手法、目標・活動内容を共有して協力を成功させるために必要な参加型手法など、実際に国際協力の現場で使われている各種手法を取り混ぜて、参加型の授業を展開します。これら手法は、学業そしてその後の仕事でも役立つものです。

授業計画は、受講学生の関心の高いピックスまたは国際社会の変化に合わせて、変更することもあります。